



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09054801 A**(43) Date of publication of application: **25 . 02 . 97**

(51) Int. Cl.

G06F 17/60
G06F 17/30
H04M 3/56
// H04N 7/14

(21) Application number: **07210408**(22) Date of filing: **18 . 08 . 95**(71) Applicant: **HITACHI LTD**

(72) Inventor: **YOSHIZAWA SATOSHI**
KITAI KATSUYOSHI
TARUI TOSHIAKI
ITO MASANAO

(54) **ON-LINE SHOPPING SYSTEM**

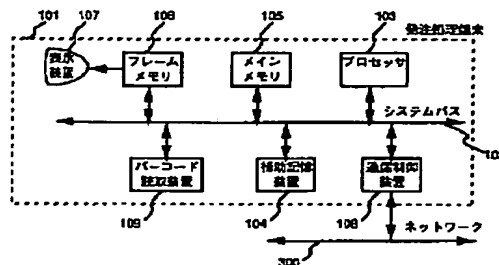
means and ordering processing is completed.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the use convenience by simplifying the input operation of user in the case of performing ordering.

SOLUTION: The bar code of a commodity to be ordered is read on an ordering processing terminal 101 and transferred through a network 300 to an order processing computer system. In the order processing computer system, the same type of commodity as the commodity to be order by a user is retrieved based on received information in the processing for retrieving a commodity data base. Based on the retrieved result, an ordered commodity candidate list generating means generates an ordered commodity candidate list as the list of the alternative articles of ordered commodity. The information such as the prices of respective pieces of commodity is stored in the ordered commodity candidate list as well and transferred to the ordering processing terminal 101. At the ordering processing terminal 101, the information stored in the ordered commodity candidate list is displayed and the selection of commodity to be ordered is called to the user. The user executes the selection by using a commodity selecting



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-54801

(43) 公開日 平成9年(1997) 2月25日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
17/30			H 0 4 M 3/56	C
H 0 4 M 3/56			H 0 4 N 7/14	
// H 0 4 N 7/14		9289-5L	G 0 6 F 15/403	3 1 0 A

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願平7-210408	(71) 出願人	000005108 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
(22) 出願日	平成7年(1995) 8月18日	(72) 発明者	吉沢 聡 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内
		(72) 発明者	北井 克佳 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内
		(72) 発明者	垂井 俊明 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内
		(74) 代理人	弁理士 小川 勝男

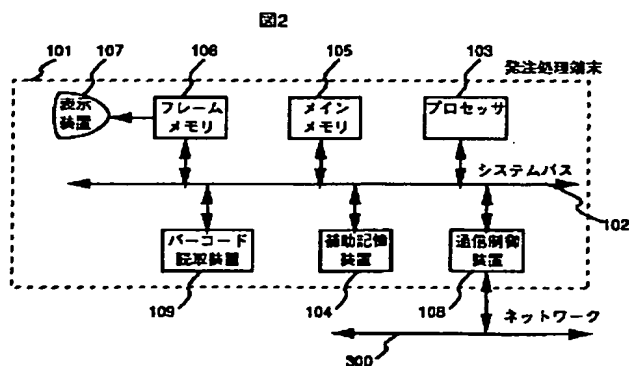
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 オンラインショッピング方式

(57) 【要約】

【目的】 オンラインショッピング・システムに於いて、注文作業を行う際の利用者の入力操作を簡略化して使い勝手を向上させる。

【構成】 発注処理端末101上で注文する商品のバーコードを読み取り、ネットワーク300を介して受注処理計算機システム201に転送される。受注処理計算機システム201では、商品データベース215を検索する処理に於いて、受信した情報を基に利用者が注文しようとする商品と同類の商品を検索する。検索結果を基に、注文商品候補リスト生成手段が注文された商品の代替品のリストとして注文商品候補リストを生成する。各商品の価格等の情報も注文商品候補リスト内に格納し、発注処理端末101に転送される。発注処理端末101では、注文商品候補リストに格納された情報を表示し、利用者に注文する商品の選択を促す。利用者が商品選択手段により選択を実行し注文処理が完了する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】通信手段を介して商品の受発注処理を行うオンラインショッピング・システムに於いて、発注側端末にバーコード読取手段を設け、発注側端末の利用者が注文したい商品に添付されたバーコードを該バーコード読取手段で読み取ることにより、注文処理が完了することを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 2】請求項 1 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、受注側計算機では該通信手段を介して発注側端末から受信した注文情報を基に、注文を受けた商品と同種類の商品を検索する手段を設け、該検索した商品の名称や単価等の商品情報を注文商品候補リストとして生成する手段を設け、該候補リストを該通信手段を介して発注側端末に転送して表示する手段を設け、発注側端末の利用者に注文する商品の選択を促す手段を設け、利用者は該候補リストから商品を選択することにより、注文処理が完了することを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 3】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、受注側では各種商品が同一時に注文される確度を計算する手段を設け、該計算結果を商品間の関連として保持する手段を設け、該商品間の関連情報を基に該注文を受けた商品と関連する商品を検索する手段を設け、該候補リスト生成時に含めることを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 4】請求項 3 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、利用者の個人情報や該システムの使用履歴情報を保持する手段を設け、該情報を基に該生成した候補リストに含まれる各商品について利用者が注文する確度を計算する手段を設け、計算した確度が予め定められた値よりも小さい場合には該商品を該候補リストから除外することを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 5】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、発注側端末に画像データ保持手段を設け、発注側端末の利用者に注文する商品の選択を促す際には、発注側端末に保持された画像データ、または該通信回線を介して受注側計算機から発注側端末に転送した画像データを該候補リストと共に表示することを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 6】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、該候補リストの中から利用者が選択した複数の商品の比較情報を、発注側端末に表示することを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 7】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、利用者の該システムの使用履歴管理手段を設け、該使用履歴の中から利用者が所望する商品を検索する履歴検索手段と、該商品を選択する履歴選択手段を設け、該使用履歴の中から注文する商品を選択して注文処理が完了することを特徴とするオンラインシ

ョッピング方式。

【請求項 8】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、グラフィックス表示や実写画像を用いたガイダンス手段を設け、利用者の任意の操作を基に該ガイダンス手段を起動する手段を設け、利用者が必要に応じて商品購入のガイダンスを受けられることを特徴とするオンラインショッピング方式。

【請求項 9】請求項 2 に記載のオンラインショッピング・システムに於いて、該通信回線を介して音声及び動画像情報の交信を行う双方向テレビ電話機能を備え、利用者の任意の操作を基に該双方向テレビ電話機能を起動する手段を設け、利用者が受注側オペレータと必要に応じて対話できることを特徴とするオンラインショッピング方式。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は顧客が自宅で商品の注文を行うことのできるオンラインショッピング・システムに係わり、特に注文作業を行う際の利用者の入力操作を簡略化して使い勝手を向上し、更に最新の品揃えの中から商品を選択することのできる、オンラインショッピング方式に関する。

【0002】

【従来の技術】関連する技術としては、特開平 6-141100 号のオンラインショッピング・システムにある様に、オーダエントリ方式と物流配送方式とを一括化することにより、システム構築を安価とし、発注から商品到着までの時間を短縮することが行われている。

【0003】また特開平 6-236389 号のオンライン受発注システムにある様に、発注側で手書き入力した注文情報を、受注側で文字認識手段を用いて文字コードに変換することにより、良好な操作性を得ることが行われている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】このような従来システムに於いては、利用者は注文する商品をカタログ等から探し出し、その商品を識別するコード番号等をキーボードや手書きにより、入力する必要があった。更に、複数の商品を同時に注文する際には、個々の商品についてカタログからコード番号を調べ、全商品についてコード入力を行う必要があった。

【0005】そのため前述の様なオンラインショッピング・システムに於いて種々雑多な日常生活品を注文しようとする、注文処理が煩雑になるという問題があった。

【0006】また利用者の手元にあるカタログ等を基に注文作業を行うため、例えば新商品の注文は新しいカタログを入手してからでなければできない等の、タイムラグが生じる問題もあった。更に受注側にとっては、新商品の売り込みを発売直後に開始できなかったり、特価品

等特定商品の販売促進が行えないという問題があった。

【0007】本発明の目的は、オンラインショッピング・システムに於いて、注文作業を行う際の利用者の操作を簡略化して使い勝手を向上し、更に常に最新の品揃えの中から商品を選択可能とすることにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明では発注側端末にバーコード読取手段、受注側計算機に商品データベース検索手段、注文商品候補リスト生成手段、更に発注側端末に商品選択手段を設ける。

【0009】利用者は注文しようとする商品に添付されたバーコードを、直接購入しようとする商品からバーコード読取手段で読み取る。バーコード読取手段で読み込んだ情報は、通信手段により受注側計算機に転送される。

【0010】受注側計算機では、商品データベース検索手段に於いて受信した情報を基に利用者が注文しようとする商品と同類の商品を検索する。商品データベース検索手段の検索結果を基に、注文商品候補リスト生成手段が注文された商品の代替品のリストを生成する。この際、各商品の価格等の情報もリスト内に格納し、通信手段により発注側端末に転送する。

【0011】発注側端末では、受信した注文商品候補リストに格納され情報を表示し、利用者に注文する商品の選択を促す。利用者が商品選択手段により注文する商品の選択を実行することにより、注文処理が完了する。

【0012】

【作用】本発明によれば、オンラインショッピング・システムに於いて、種々雑多な日用生活品を注文しようとする場合にも商品のバーコードを直接読み込んで注文処理が行えるため、カタログ等から商品を探し出す必要もなく、注文処理を簡便に行うことができる。

【0013】更に、注文処理を行ったのと同類の商品の一覧を利用者に提示して選択させることができるので、利用者は最新の商品を手入したり、また特価品等、受注側が販売促進を図りたい特定の商品を利用者に提示することも可能である。

【0014】

【実施例】以下、本発明の実施例について図面を基に説明する。図1は本発明の一実施例を示す、オンラインショッピング・システムの構成を示すブロック図である。オンラインショッピング・システムは、家庭100の発注処理端末101と、受注センタ200の受注処理計算機システム201が広域ネットワークWAN (Wide Area Network) 300-1で接続され、更にWAN300-2によって商品供給会社310や、物流センタ320の計算機システムに接続された構成を持つ。

【0015】ここで、商品供給会社310や、物流セン

タ320の計算機は、発注処理端末101や受注処理計算機システム201と同一のWAN300に接続された構成を持っても良い。更に、例えばWAN300-1に複数のLAN (Local Area Network) が接続され、それぞれに複数の発注処理端末101が接続される構成を持っても良い。またWAN300-1やLAN等のネットワークの代替として、電話回線を使用した構成を持っても良い。

【0016】次に本発明に於けるオンラインショッピングの一実施例を説明する。本システムの利用者は、それぞれの家庭100に設置された発注処理端末101の入力装置を用いて、所望する商品の注文を入力する。発注処理端末101に入力された注文情報はWAN300-1を経由して受注センタ200の受注処理計算機システム201に転送される。

【0017】受注処理計算機システム201は受信した注文情報を基に、WAN300-2を通じて、商品供給会社310に対して商品の発注を行い、更に物流センタ320に対して発注した商品の、商品供給会社310から家庭100への運搬の手配を行う。この際、同一の家庭100から受けた注文が複数あり、それが複数の商品供給会社310から供給される商品である場合、一度全商品を物流センタ320に集めた上で、家庭100への運搬を行う様に手配しても良い。更に受注処理計算システム201は、発注処理端末101から受けた注文について決済処理を行い、例えば家庭100の銀行口座等から支払いが行われる様に手配する。

【0018】図2は、本発明の発注処理端末101の一実施例を示すブロック図である。発注処理端末101に於いて、102は各構成ブロック間の命令及びデータの伝送路であるシステムバス、103はプログラムを実行するプロセッサ、104は以下で説明する発注処理端末101上で実行される処理ステップを記述したプログラムコード等を格納する磁気ディスク装置や半導体ディスク等の補助記憶装置、105はプログラム実行中にそのコードやデータを格納するメインメモリ、106は表示データを格納するフレームメモリ、107はフレームメモリ106の内容を表示するCRTや液晶等による表示装置、108はWAN300との入出力を制御する通信制御装置である、109はバーコード情報を読み込むためのバーコード読取装置である。

【0019】尚、図2に於いては省略しているが、発注端末101では、キーボードやマウス等の入出力装置がシステムバス103に接続されていても良い。

【0020】図3は受注処理計算機システム201の一実施例を示すブロック図である。202は受注処理計算機システム201と外部ネットワーク300とを接続するゲートウェイ計算機、203は発注処理端末101が転送した注文情報を処理する受注処理計算機、204は商品供給会社310に対して商品の発注を行う発注処理

計算機、205は物流センタ320に対して商品の運搬の手配を行う物流統括計算機、206は商品代金の決済を行う決済管理計算機、207は計算機202-206を接続するLANである。上記で説明したオンラインショッピングの一実施例に於ける受注処理計算機システム201の処理は、計算機202-206がLAN207を使用して情報を交換しながらそれぞれの処理を実行することにより行われる。

【0021】尚、図3に於いては複数の計算機202-206がLAN207で接続された構成を示したが、受注処理計算機システム201は例えば唯一台の計算機により構成され、それが複数のネットワーク300に接続されても良いし、例えば発注処理計算機204の機能と、物流統括計算機205の機能とが同一計算機上で実現される様な組み合わせで構成されても良い。

【0022】図4は受注処理計算機203の一実施例を示すブロック図である。受注処理計算機203に於いて、210は各構成ブロック間の命令及びデータの伝送路であるシステムバス、211はプログラムを実行するプロセッサ、212は以下で説明する受注処理計算機203上で実行される処理ステップを記述したプログラムコード等を格納する磁気ディスク装置等の補助記憶装置、213はプログラム実行中にそのコードやデータを格納するメインメモリ、214はLAN207との入出力を制御する通信制御装置である、215はオンラインショッピングで取り扱う商品の情報を格納した商品データベースである。

【0023】図5は、本発明によるオンラインショッピングに於いて利用者が注文する商品の、パッケージの一実施例を示す図である。150は商品パッケージであり、151は商品パッケージ150に印刷され、商品の識別情報を保持するバーコードである。

【0024】図6は、本発明によるオンラインショッピング・システム利用時の処理フローの一実施例を示す図である。

【0025】先ず発注処理端末101の処理400について説明する。先ず処理ステップ401で、システムの利用者が発注処理端末101のバーコード読取装置109を用いて注文する商品のバーコード151を読み取る。処理ステップ402では、ステップ401で読み取った情報を基に注文情報を生成する。ステップ403では、通信制御装置214からWAN300を介して注文要求601を受注処理計算機203に送信する。処理ステップ404では、受注処理計算機203からの応答602を受信し、確認応答603を送り返す。この際、利用者に対して注文内容の確認を行っても良い。処理ステップ404終了後は、401に戻り、上記処理を繰り返す。尚、これらの処理ステップを記述したプログラムコードは、発注処理端末101の補助記憶装置104に格納されており、メインメモリ105にロードしてプ

ロセッサ103により実行されるものである。

【0026】次に受注処理計算機203の処理500について説明する。先ず処理ステップ501で発注処理端末101からの注文要求を受信する。処理ステップ502で、注文を受けた商品が入手可能であるか否か等を商品データベース215を検索することにより確認する。入手可能であれば、処理ステップ503の注文情報確認処理で応答602を返し、確認応答603を受信する。処理ステップ504では、通信制御装置207からLAN207を介して商品の手配情報604を、発注処理計算機204、物流統括計算機205、決済管理計算機206に対して送信する。処理ステップ504終了後は、501に戻り、上記処理を繰り返す。尚、これらの処理ステップを記述したプログラムコードは、受注処理計算機203の補助記憶装置212に格納されており、メインメモリ213にロードしてプロセッサ211により実行されるものである。

【0027】注文情報確認処理404及び503の第二の実施例を以下で説明する。

【0028】第二の実施例では、図6の処理フローの処理ステップ401に於いて利用者が指定した商品と同一種別の商品を受注処理計算機203上の処理ステップ502で検索し、その検索結果を602で発注処理端末101に転送し、利用者に実際に注文する商品の選択を促し、利用者の選択結果を603で受注処理計算機203に転送する。これにより利用者は、所望する商品と同一種別または同一機能を持つ商品のリストから実際に購入する商品を選択することが可能となり、例えば新製品を選択したり、販売促進等の措置により安価となっている商品を選択することが可能となる。以下、本実施例についてより詳細に説明する。

【0029】図7は処理ステップ502で検索の対象となる商品データベース215の構成の一実施例を示す図である。商品データベース215は、701の商品識別番号、702の商品種別番号、703の商品名称、704の商品供給会社名称、705の単価、706の納期のフィールドにより構成される。商品データベース215の各レコード720は、それぞれ一つの商品に対応する。

【0030】尚、ここで示したデータベースは、関係データベース(RDB:Relational Database)等の方法によって実現されても良い。

【0031】以下、処理ステップ401に於いて、利用者が商品データベース215のレコード720-1に該当する商品のバーコード151を読み取らせた場合を例に説明する。

【0032】受注処理計算機203が受信する注文要求601には、上記バーコード151から読み取った商品識別番号が格納されている。処理ステップ502では、商品データベース215のフィールド701と601に

格納された情報との照合を行う。本例に於いては、レコード720-1が検索される。次にレコード720-1のフィールド702と同一の商品種別番号を有するレコードを検索する。検索結果は、次に示す注文商品候補リスト620に格納する。

【0033】図8は、注文商品候補リスト620の構成の一実施例を示す図である。フィールド701から706は商品データベース215のフィールドと同一内容である。本リスト620には、フィールド702の値がレコード720-1のフィールド702の値と一致するレコードのみが格納される。

【0034】処理ステップ503の602に於いて、注文処理候補リスト620は、発注処理端末101上の処理ステップ404に転送する。

【0035】図9に、処理ステップ404に於ける商品選択手段の画面表示の一実施例を示す。107は表示装置であり、プロセッサ103がフレームメモリ106に書込んだ内容を表示する。650は、マウスやキーボード等のポインティング装置に連動したカーソル、651は表示装置107上の表示領域を示すウィンドウである。750は注文商品候補リスト620に格納された情報を基に表示する商品選択領域であり、761に商品名称、762に商品供給会社名称、763に単価、764に納期を表示する。また760に各商品の情報を表示する。利用者は商品選択領域750の中から希望する商品をカーソル650を移動してマウスボタンを押下すること等により選択する。

【0036】商品選択領域750に於いて、例えば利用者が処理ステップ401で指定した商品に該当する欄760-1のみを、太線で囲ったり、表示色を変更する等して、ハイライト表示を行っても良い。また、例えば単価の最も低い商品についてハイライト表示を行ってもよい。これらの表示方法は、発注処理端末101を所持する利用者の好みに合わせて、設定できる様にしても良い。

【0037】図10に、処理ステップ404に於ける商品選択手段の画面表示の第二の実施例を示す。本実施例に於いては、商品選択領域750に商品リストの表示順の並べ換えを指定する「ソート」選択ボタン765を設け、利用者がカーソル650を移動してマウスボタンを押下すること等により選択できる様にする。選択ボタン765を選択すると、表示ウィンドウ651-2が表示され、並べ換えの方法766を指定する様に利用者を促す。利用者が766の一つを選択することにより、商品リストの表示順の並べ換えを実行する。

【0038】図11は処理ステップ502で検索の対象となる商品データベース215の構成の第二の実施例を示す図である。フィールド701から706は、図7に示した商品データベース215の実施例と同一の内容であり、707は各商品に関連する他の商品のリストの管

理識別子である。730は関連リストテーブルであり、707に該当する各管理識別子について商品識別番号のリスト731が格納される。

【0039】ここで関連商品とは、例えばある商品の代替となる商品（例えばバターとマーガリンの関係）、また例えばある商品を購入する時に一緒に購入される可能性の高い商品のことを意味する。後者については、本発明によるオンラインショッピング・システムに於ける購入実績をデータベース化して取得しても良いし、例えば既存のスーパーマーケット等に於ける統計情報を基に取得しても良い。更にリスト731の各要素に、関連の度合を示す情報を格納し、一緒に購入される確度を計算することにより、確度の高い商品種別のみ注文商品候補リスト620に含める様にしても良い。

【0040】図12は、注文商品候補リスト620の構成の第二の実施例を示す図である。フィールド701から706は、図8に示した注文商品候補リスト620の実施例と同一の内容である。740は関連情報の格納が開始されることを示す識別子である。図12に示した実施例に於いては、レコード720-2が関連商品として、注文商品候補リスト620に格納される。

【0041】図13は、図11及び図12に示した実施例に於ける、注文情報確認処理404及び503の一実施例を示すフロー図である。

【0042】処理ステップ505に於いては、処理ステップ401で指定された商品と同種別の商品のリスト、及び関連する商品のリストを、注文商品候補リスト620に登録する。処理ステップ506の602に於いて、注文処理候補リスト620は、発注処理端末101上の処理ステップ405に転送する。処理ステップ406に於いて利用者に対して注文商品の選択操作を促す。ステップ405の実施例については、より詳細に後述する。利用者の行った選択の結果、注文商品リストが生成され、処理ステップ407に於いて603で受注処理計算機203の処理ステップ507に転送される。

【0043】図14は、図11及び図12に示した実施例に於ける、注文情報確認処理404及び503の第二の実施例を示すフロー図である。

【0044】処理ステップ508では、処理ステップ401で指定された商品と同種別の商品のリスト、及び関連する商品の種別のリストを、注文商品候補リスト620に登録する。処理ステップ506、405と406、及び602は図13の実施例と同様である。処理ステップ408は利用者に商品リストの閲覧を希望する商品種別の選択を促す処理ステップ、処理ステップ409は、408で利用者が選択した商品種別の情報を604で受注処理計算機203に転送するステップ、410は604に基づき生成された商品リストを受信するステップである。処理ステップ410終了後、処理ステップ406に戻り繰り返し処理を行い、利用者が商品選択の終了を

指定すると処理ステップ407で注文商品リストを603で送信する。

【0045】また、処理ステップ508は604を受信するステップ、処理ステップ509は、604の商品種別情報を基に図8に実施例を示した注文商品候補リスト620を生成するステップ、処理ステップ510は、注文商品候補リスト620を605で転送するステップ、処理ステップ507は603を受信するステップである。

【0046】また各関連商品の購入確度等に従い、図13の処理ステップ505及び図14の処理ステップ508を、混在して使用してもよい。

【0047】図15及び図16に、図13及び図14のフローで示した実施例に於ける画面表示の第三及び第四の実施例を示す。

【0048】図15は、図10に示した実施例に766の関連商品選択ボタンを付加した実施例である。選択ボタン766を選択すると、ウィンドウ651-3が表示され、利用者に対して商品一覧の表示を所望する商品種別770の選択を促す。ここで図13のフローで示した実施例の場合、ウィンドウ750の内容に相当する商品リストを直接651-3に表示しても良い。

【0049】図16は、図15に於いて利用者が770-1を選択した場合の画面表示例を示す。770-1を選択することにより、ウィンドウ651-4が表示され、指定された関連種別商品の一覧750-4が表示される。この際、ウィンドウ651-4に770-1の選択を取り消すための、キャンセル選択ボタン767を設けても良い。

【0050】図17は、発注処理端末101の第二の実施例の構成を示すブロック図である。図17に示した発注処理端末101は、図2で示した実施例に、120のCD-ROM装置等の読取専用補助記憶装置を付加することにより、図9等に示した商品選択手段に於いて、各商品を撮影した画像データや、またより詳細な情報の表示を行える様にする。また、読取専用補助記憶装置120のCD-ROM媒体に登録されていない商品に関してのみ、受注処理計算機203の補助記憶装置212から読み出して、図6等の602でWAN300を介して発注処理端末に転送すれば、120で使用しているCD-ROM媒体の版に係わらず、新商品を含む全ての商品について画像データや詳細情報の表示を実施できる。

【0051】図18に各利用者のオンラインショッピング・システム使用履歴管理テーブル770を示す。使用履歴管理テーブル770は、発注処理端末101の補助記憶装置104または受注処理計算機203の補助記憶装置212に保持される。771は利用年月日、772は購入した商品の商品識別番号、773は同商品種別番号、774は同商品名称、775は同商品供給会社名称、776は同単価、777は購入個数である。

【0052】使用履歴管理テーブル770を使用することにより、図15に示した商品選択手段に於いて、例えば過去一週間以内に購入した商品の属する種別は770に表示しない様にする事ができ、システムの使い勝手を向上することができる。また例えば定期的に購入されている商品については、購入が予想される時期となった時に、図15の770に表示される様にしても良い。

【0053】また使用履歴情報770を表示画面107上に表示し、そこから利用者が注文する商品の選択を行う様にし、処理ステップ401の代替としても良い。この際、使用履歴情報770内の検索を、例えば購入日や購入単価等を基に種々の方法で行える様にしても良い。

【0054】図19は商品選択手段にガイダンス用ウィンドウ651-5を表示した、第五の画面表示実施例を示す図である。ウィンドウ651-5内に表示される情報は、予めコンピュータグラフィックス(CG)技術や実写画像とCGの合成等により作成され、受注処理計算機203の補助記憶装置212内に、商品データベース215を検索することにより取得できる管理構造で保持する。該情報は、602または605で受注処理計算機203から発注処理端末101にWAN300を介して転送され、商品選択ウィンドウ651等と共に表示画面107上で表示する。651-5の表示を起動するタイミングは、例えばウィンドウ651を表示してから予め定められた一定時間内に利用者による操作が無い場合としても良い。またガイダンス機能を起動する選択ボタンをウィンドウ651上に表示して、利用者の操作によって起動する様にしても良い。更に、WAN300を介して音声及び動画像情報の交信を行う双方向テレビ電話機能を備え、ウィンドウ651を用いて受注側オペレータと直接に対話可能としても良い。

【0055】

【発明の効果】本発明によれば、オンラインショッピング・システムに於いて、商品のバーコードを直接読み込んで注文処理を行うため、利用者がカタログ等から商品を探し出す作業を省略でき、利用者側の注文処理を簡便化できる。

【0056】更に、注文処理を行ったのと同類の商品の一覧が利用者に提示されるので、利用者は最新の商品を入手することができる。また受注側としては、販売促進を図りたい商品を積極的に利用者に提示することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のオンラインショッピング・システムの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の発注処理端末の構成の一実施例を示すブロック図である。

【図3】本発明の受注処理計算機システムの構成の一実施例を示すブロック図である。

【図4】本発明の受注処理計算機の構成の第二の実施例

を示すブロック図である。

【図 5】本発明のオンラインショッピング・システムに於いて、ショッピングの対象となる商品のパッケージの一実施例を示す図である。

【図 6】本発明に於けるオンラインショッピングの一実施例を示すフローチャート図である。

【図 7】本発明に於ける商品データベースの一実施例を示す図である。

【図 8】本発明に於ける注文商品候補リストの一実施例を示す図である。

【図 9】本発明の商品選択手段に於ける発注処理端末の画面表示の一実施例を示す図である。

【図 10】本発明の商品選択手段に於ける発注処理端末の画面表示の第二の実施例を示す図である。

【図 11】本発明に於ける商品データベースの第二の実施例を示す図である。

【図 12】本発明に於ける注文商品候補リストの第二の実施例を示す図である。

【図 13】本発明に於ける注文情報確認処理の処理フローの一実施例を示す図である。

【図 14】本発明に於ける注文情報確認処理の処理フローの第二の実施例を示す図である。

【図 15】本発明の商品選択手段に於ける発注処理端末の画面表示の第三の実施例を示す図である。

【図 16】本発明の商品選択手段に於ける発注処理端末の画面表示の第四の実施例を示す図である。

【図 17】本発明の発注処理端末の構成の第二の実施例を示すブロック図である。

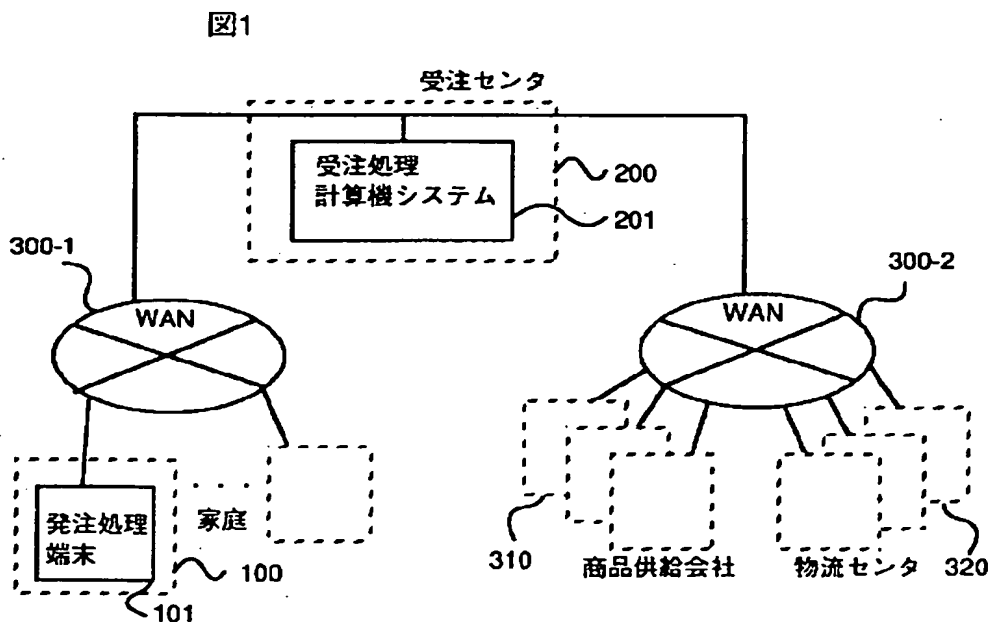
【図 18】本発明の使用履歴管理テーブルの一実施例を示す図である。

【図 19】本発明の商品選択手段に於ける発注処理端末の画面表示の第五の実施例を示す図である。

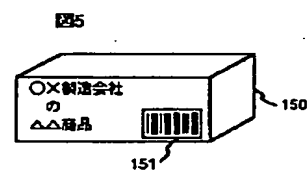
【符号の説明】

101：発注処理端末、102：システムバス、103：プロセッサ、104：補助記憶装置、105：メインメモリ、106：フレームメモリ、107：表示装置、108：通信制御装置、109：バーコード読取装置、120：読取専用補助記憶装置、150：商品パッケージ、151：バーコード、201：受注処理計算機システム、202-206：計算機、203：受注処理計算機、207：ネットワーク、210-214：受注処理計算機の構成ブロック、215：商品データベース、300：WAN、401-410：発注処理端末の処理ステップ、501-510：受注処理計算機の処理ステップ、620：注文商品候補リスト、650：カーソル、651：表示ウィンドウ、730：関連商品リスト、765-767：選択ボタン、770：使用履歴管理テーブル。

【図 1】

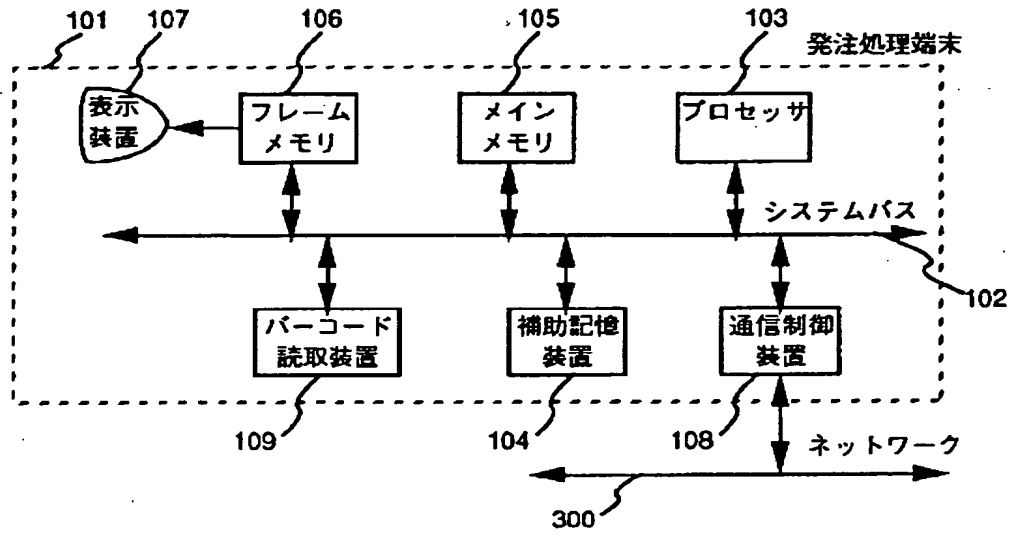


【図 5】



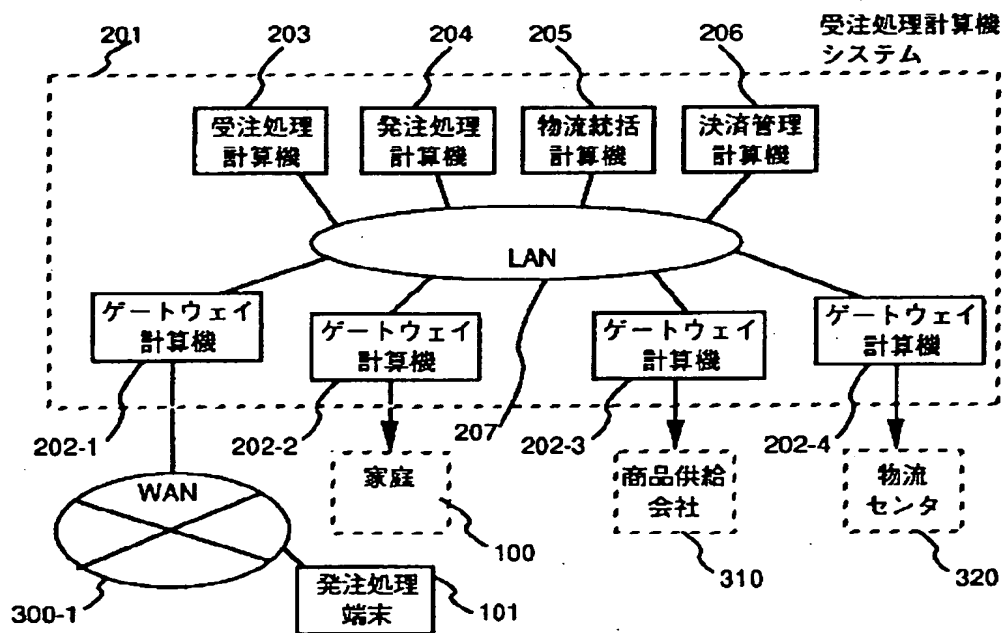
【図2】

図2

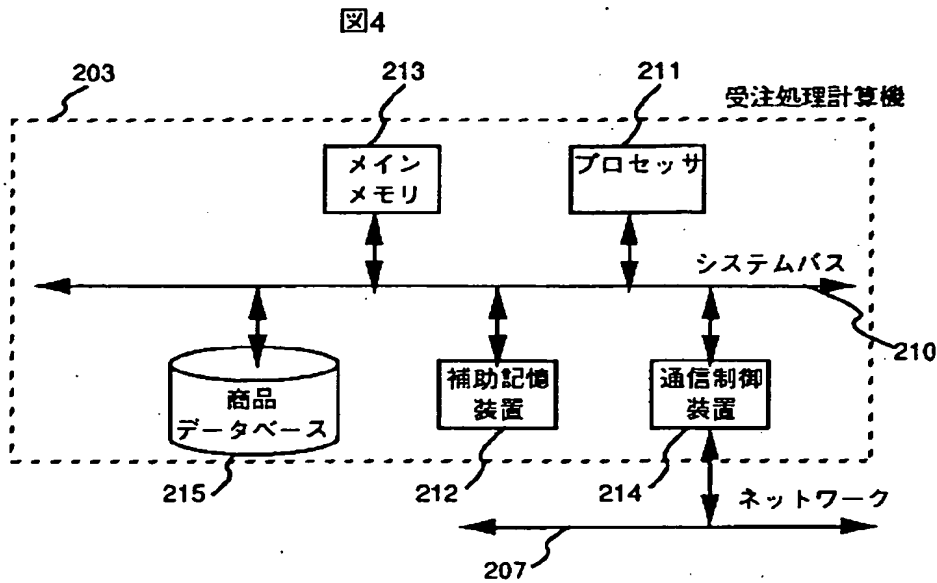


【図3】

図3



【図4】



【図7】

図7

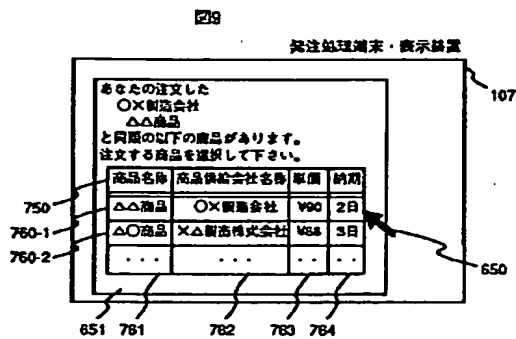
商品種別番号	商品種別番号	商品名称	商品供給会社名称	単価	納期
01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2日
01248xxx	646x	△×商品	○×製造会社	¥980	4日
...
24861xxx	348x	△○商品	×△製造株式会社	¥88	3日
...

【図8】

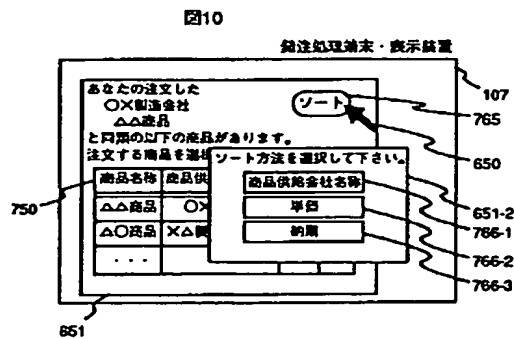
図8

商品種別番号	商品種別番号	商品名称	商品供給会社名称	単価	納期
01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2日
24861xxx	348x	△○商品	×△製造株式会社	¥88	3日
...

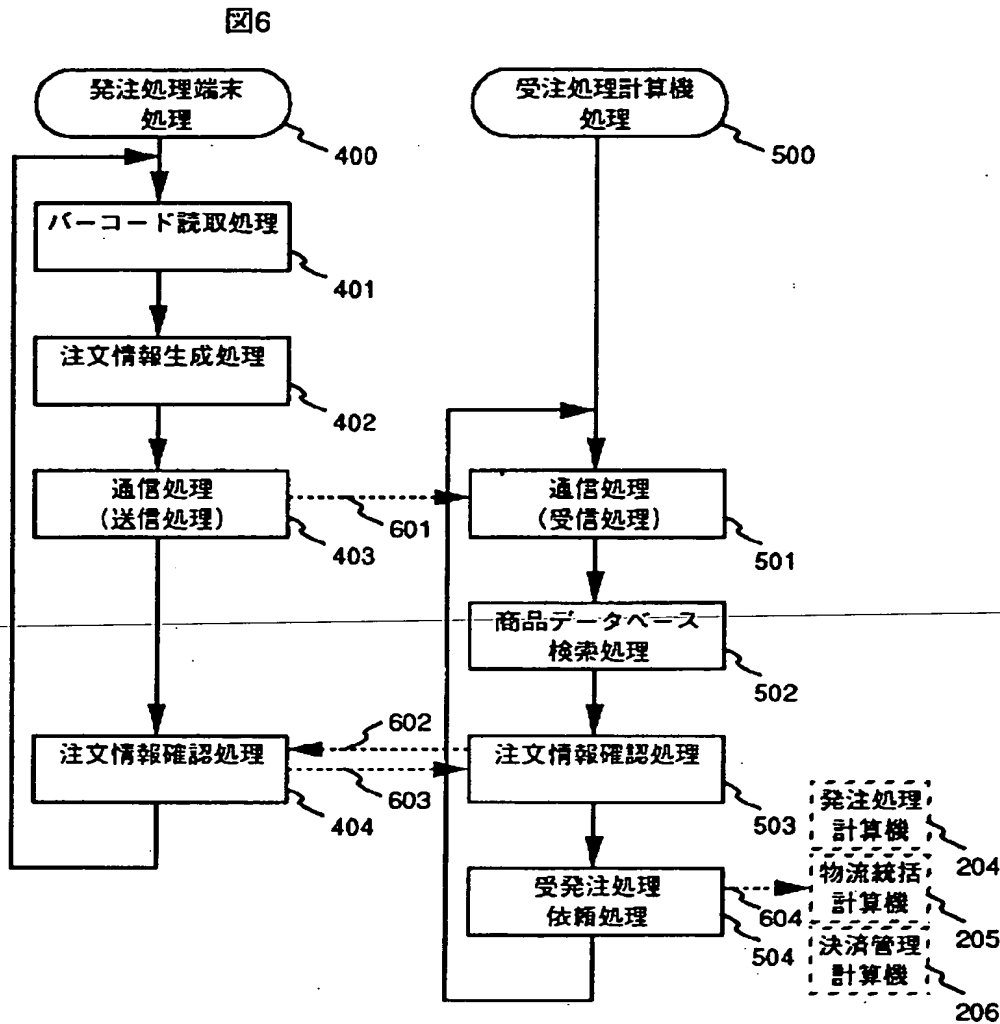
【図9】



【図10】



【図6】



【図11】

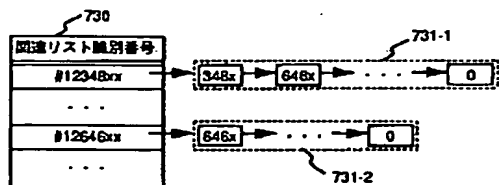
図11

商品識別番号	商品種別番号	商品名称	商品供給会社名称	単価	納期	関連リスト
01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2日	#12348xx
01248xxx	646x	△×商品	○×製造会社	¥990	4日	#12648xx
...
24861xxx	348x	△○商品	×△製造株式会社	¥88	3日	#12348xx
...

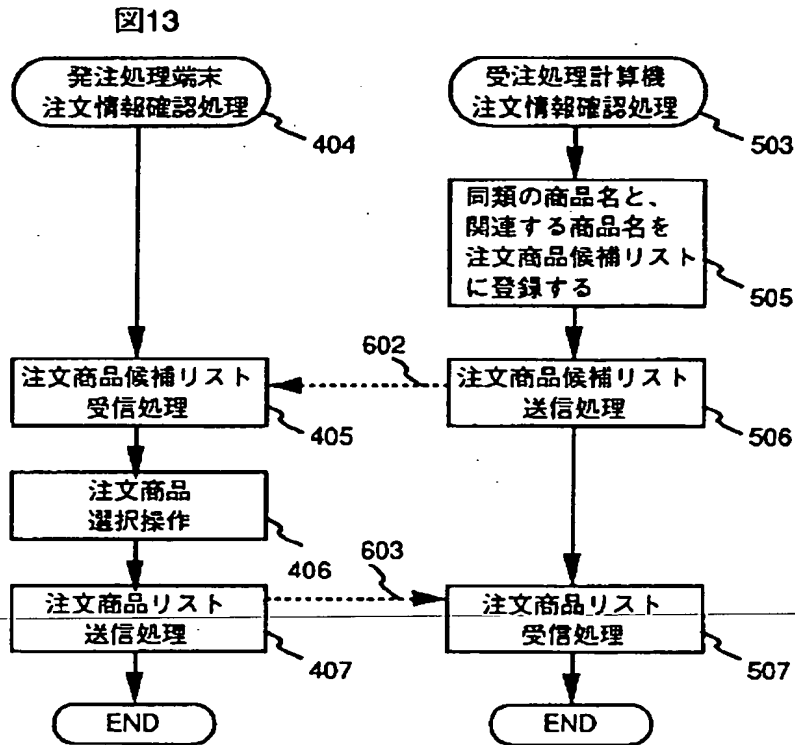
【図12】

図12

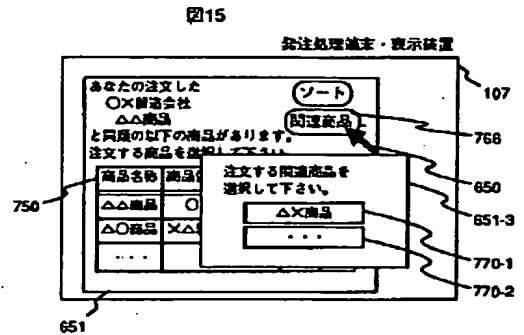
商品識別番号	商品種別番号	商品名称	商品供給会社名称	単価	納期
01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2日
24861xxx	348x	△○商品	×△製造株式会社	¥88	3日
関連#1	646x	△×商品	○×製造会社	¥990	4日
...
関連#2	646x
...



【図13】



【図15】



【図16】

【図18】

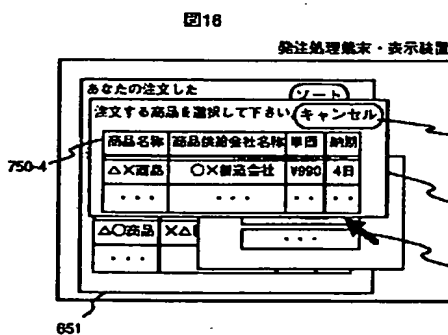
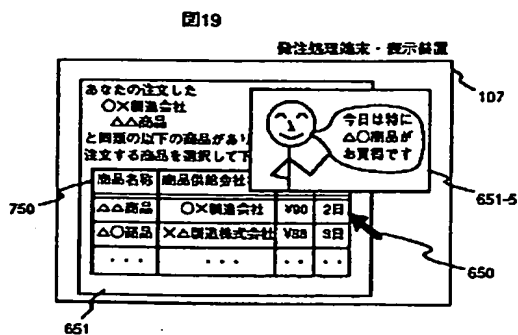


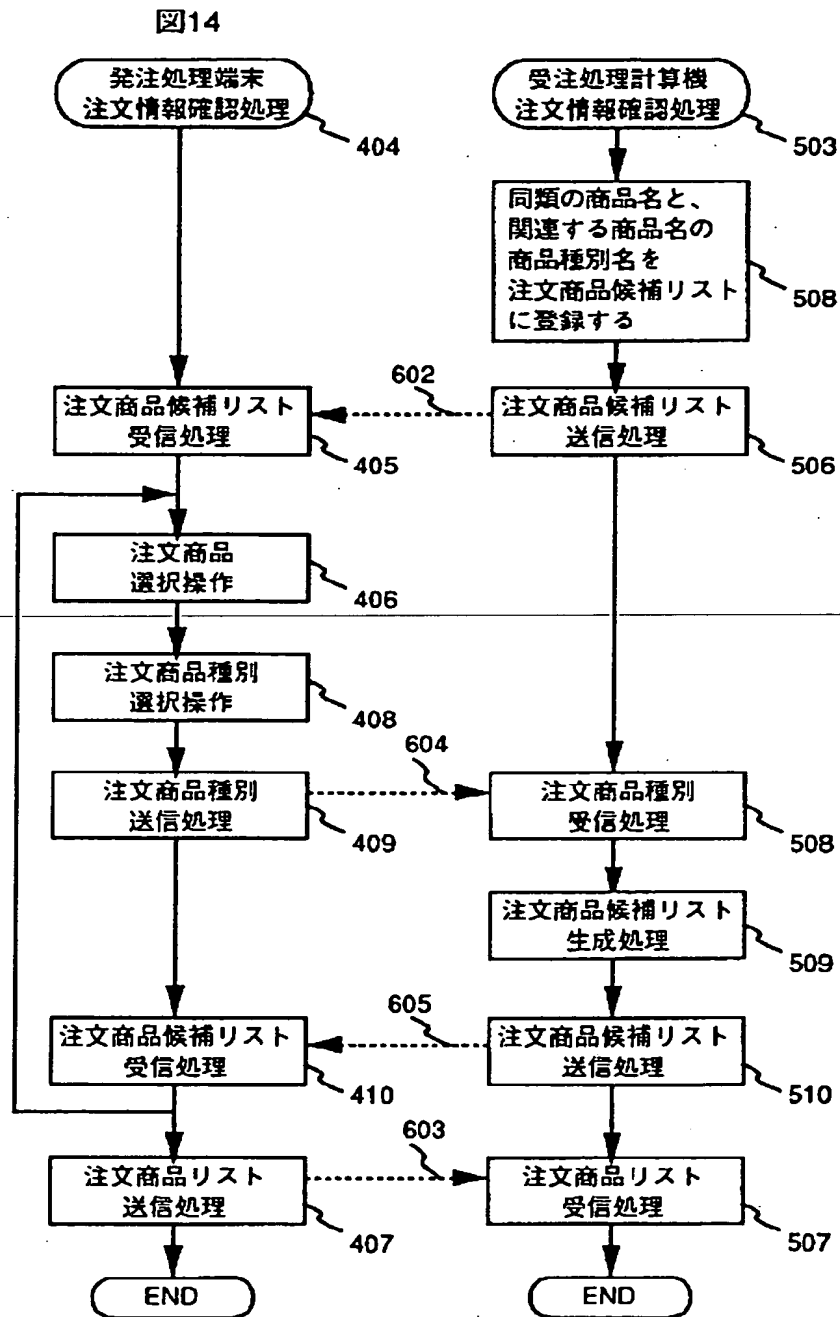
図18は、商品リストの表を示す。

771 利用日	772 商品識別番号	773 商品種別番号	774 商品名称	775 商品供給会社名称	776 単価	777 個数
...
H7.4.12	01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2
...
H7.5.12	01232xxx	348x	△△商品	○×製造会社	¥90	2
H7.5.12	01248xxx	646x	△×商品	○×製造会社	¥990	1
...

【図19】

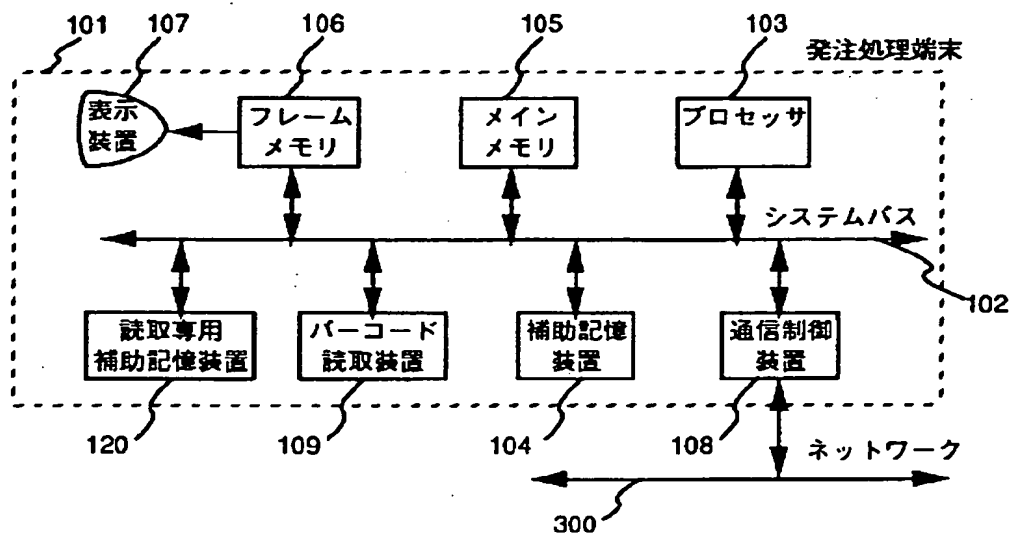


【図14】



【図17】

図17



フロントページの続き

(72)発明者 伊藤 昌尚
 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地
 株式会社日立製作所中央研究所内